

迅速な災害支援へ 鹿島市社協が協定

防災組織、奉仕団体と

鹿島市

鹿島市社会福祉協議会
は25日、災害に備え、

市内の防災組織、ボランティア団体との三者で協定を結んだ。大規模な災害が発生した際、ボランティアセンターの運営などで協力、いち早く支援活動ができるようにする。

協定を結んだのは市民有志らでつくる「かしま防災サポーターズクラブ（会員169人、徳永信行



代表)」、被災地の支援を行って
いるボランティア団体「DIWA」

災害に備えて協定を結んだ社協の小野原利幸会長（中央）、かしま防災サポーターズクラブの徳永信行代表（左）、DIWAの風間扶美子代表＝鹿島市民交流プラザ

（県内外の約85人、風間扶美子代表）。

災害時、ボランティアの受け入れは市社協が窓口となる。2団体は、被災者のニーズの把握、派遣先の調整などの業務で協力する。

物資の受け入れや資材の調達も支援する。7月豪雨時もボランティア活動に加わるなどして連携した。

調印式では、市社協会長の小野原利幸さん(73)が「これまで以上に大規模な災害の発生に備え、協力する体制を整えていきたい」と述べ、意欲を見せた。（中島幸毅）



調印式出席者(鹿島市民交流プラザ)